

顔の見える木材での快適空間づくり事業

【テーマ】糸島産未利用広葉樹等を活用した住空間の提案

背景と目的

【背景】

- 森林整備を行っていく上で広葉樹が産出されるが、これまで広葉樹は薪やチップにしてバイオマス燃料などの用途が大半だった。

【目的】

- 広葉樹の有効活用のため、付加価値の高い家具・インテリア向けに供給すること
- 未利用材（楠、センダン、サクラ、カイヅカ、イチョウなど）の有効活用。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- 糸島産材の未利用材（楠、センダン、サクラ、カイヅカ、イチョウなど）を使用した設備家具（木製キッチン）、建具、その他インテリア製品

写真・図等



家具類のイメージ



木製キッチン、建具、その他インテリアのイメージ

事業実施主体

糸島産材活用協議会

実施体制・連携グループ

○ 糸島産材活用協議会

事業実施主体として本事業の企画運営・進捗、経理管理、会議開催、事業報告等を実施

○ 協同組合福岡・大川家具工業会 地域材開発委員会

広葉樹を活用した家具・インテリア加工体制の構築およびアドバイス

事業内容（利用拡大に向けた具体的な実施項目）

①糸島産広葉樹等の未利用材の調達、家具材としての製材加工と乾燥
「伊都山燐」にある広葉樹の家具材として利用できる材の選定を行い、
製材から乾燥までを行う。

②試作品企画、デザイナーの選定、試作品デザイン
糸島産広葉樹等を使ったキッチンやリビング、その他の家具および設備家具、
建具などの企画デザインを行う。

③試作品製作事業者の選定
福岡・大川家具工業会の地域材開発委員会にデザイナーとの打ち合せ、試作品の
製作企業取り纏めを行ってもらう。

④試作品の製作

⑤PR用パンフレット作成
試作品完成後、写真撮影、パンフレット作成を行い広く広報する。

⑥試作品の納品、展示
住宅展示場へ試作品の納品、展示を行う。

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

①広葉樹等の未利用材の調達、②試作品企画、デザイナー ③試作品製作事業者の選定
家具材としての製材加工と乾燥 の選定、試作品デザイン ④試作品の製作

⑤PR用パンフレット作成

⑥試作品の納品、展示

